

開設講座名	【選択】学校と裁判	担当講師	藪本 知二		
講習会場	山口県立大学（南キャンパス） D館 D12 教室	会場所在地	山口市桜畠 3-2-1		
開設日	平成 30 年 8 月 22 日（水）	時間数	6 時間	受講定員	30 人
募集期間	平成 30 年 5 月 20 日～6 月 3 日	履修認定時期	平成 30 年 9 月 30 日まで		
履修認定対象職種	教諭、養護教諭	主な受講対象者	教諭、養護教諭		
受講料等総額	6,000 円	うち受講料以外の経費	0 円		
<p>【到達目標】</p> <p>①学校裁判における基礎的な法知識を習得する。</p> <p>②学校裁判（特に、いじめ・体罰・教育内容をめぐる裁判）の動向を理解し、そこで問題となっている事柄について理解する。</p>					
<p>【講習の概要】</p> <p>学校という場で生ずるいじめ（ハラスメント）、体罰、校則、教育情報などをめぐる裁判例の動向を概観し、具体的な裁判例を分析・検討することによって、事件の再発防止および子どもの権利（子どもの学習権など）の保障の観点から、学校が取り組むべき課題について考える。</p> <p>講習において、討議の時間を設けたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育裁判の動向と学校教育裁判を理解するための基礎的な法知識 2. いじめ裁判 いじめ防止対策推進法の概要と判例の展開の概観 3. 体罰裁判① 体罰法制と判例の展開の概観 4. 体罰裁判② ケース・スタディ ～最三小判平成 21 年 4 月 28 日民集 63 巻 4 号 904 頁の検討を中心に～ 5. 教育内容と子どもの人権 判例の展開の概観 ～最二小判平成 8 年 3 月 8 日民集 50 巻 3 号 469 頁の検討を中心に～ 6. 筆記試験 					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法：筆記試験による。</p> <p>合格： 「到達目標」に達していること。</p> <p>不合格： 上記以外の場合。</p>					
<p>【テキスト・参考資料】</p> <p>テキストは使用しない。</p> <p>講義は当日配布する資料にて行う。</p>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>本講習で取りあげる学校教育裁判の事例（いじめ・体罰・校則・教育内容などをめぐる裁判事例）を新聞や判例集（裁判所のホームページ）などで事前に読んでおくと、理解が深まることでしょう。</p>					